

担当科目	単位数	授業時間	担当講師
在宅看護論 I (看護技術)	2 単位 45 時間	2 年生	外部講師 専任教員
《学習目標》			
1. 在宅における生活支援のためのアセスメントと支援方法が理解できる。 2. 医療処置の必要な対象者の在宅で行われる診療の補助について理解できる。 3. 在宅療養者の状態別看護の看護過程を通して、在宅看護の必要性や特徴の理解を深めることが出来る。 4. 演習を通して在宅看護の実際を知り、在宅での看護技術を理解することが出来る。 5. 在宅看護論実習に臨む態度を養うことが出来る。			
授業内容			備考
1.～3. 生活の中で必要となる安全管理 ①家屋環境の整備      ②転倒・転落の防止      ③誤嚥・窒息の防止 ④熱傷・凍傷の防止      ⑤熱中症の防止      ⑥閉じこもりの防止 ⑦独居高齢者等と火災予防  4.～6. 家族への支援 ①家族のアセスメント      ②家族関係の調整      ③ケア方法の指導 ④介護者の健康      ⑤レスパイトケア  7.～9. 生活を支える在宅看護技術 ①食事・栄養の援助      ②排泄の援助      ③清潔の援助      ④移動の援助  10.～12. 在宅療養者の状態・状況にあわせた看護 ①日常生活活動の低下及び疾病の再発予防が必要な療養者 ②回復期（リハビリテーション）にある療養者 ③慢性期にある療養者（難病・認知症） ④終末期にある療養者  13.～15. 在宅における医療管理を必要とする人と看護 ①薬物療法      ②酸素療法      ③人工呼吸療法（非侵襲的換気療法） ④膀胱留置カテーテル法      ⑤胃瘻・経管栄養法 ⑥中心静脈栄養法      ⑦褥瘡管理			講義
16～23. 在宅看護の実際 訪問看護演習			演習
《教科書》在宅看護論 統合分野 在宅看護論 医学書院 写真でわかる訪問看護 インターメディカ			
《評価》筆記試験・授業態度 出席・提出物で評価する。			